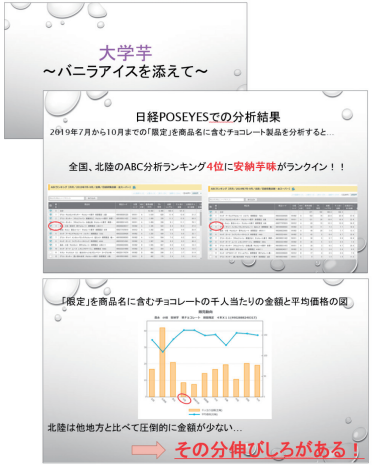
# ビックデータによる消費者ニーズの調査等に基づくマーケティング戦略の企画・支援

8 働きがいも経済成長も　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　12 つくる責任つかう責任　17 パートナーシップで目標を達成しよう

キーワード　ビックデータ／データサイエンス／マーケティング／消費者ニーズ／地方共創(CSV)

## 研究概要

松林研究室では専門分野である経営学・データサイエンスによるマーケティング研究の一環としてビックデータ(消費者動向調査・POSデータ・メディア報道記事等)を活用した市場調査や消費者ニーズの研究をしています。具体的には無償・有償のビックデータの統計学的な分析結果に基づいた消費者ニーズやSTP、4P、プロモーションの再定義を行い企業にとって今後取り組むべき最適なマーケティング戦略“顧客の求める物は何か?”“どのように顧客とのコミュニケーションを構築するか?”等の企画・立案・並びに実行支援します。




北陸地方で模擬店を出店する場合の市場分析にPOSデータを活用した分析事例

## 今後の展開やメッセージ

これまでの経歴・実績を踏まえて地元企業に貢献することはもちろん、加えて地元ベンチャー企業のお役に立てます様な事例や事業戦略の提供、並びに世界規模のネットワーキングをサポートしたいと考えています。

## 研究者情報

松林 賢司 教授・博士(工学)、MBA
情報フロンティア学部　経営情報学科
所属研究所：地域共創イノベーション研究所

研究者情報URL
https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/BEAII.html
https://researchmap.jp/7000018012
https://kitnet.jp/laboratories/labo0106/index.html